

# 令和2年度 筑前町立東小田小学校 学力向上プラン

## ■視点1-②

《中期目標》 主体的に課題を追求し、根拠をもとに論理的に考え表現できる子どもの育成  
 <成果指標> ◆令和5年度の全国調査の標準化得点：国語105 数学105

《短期目標》 いきいきと学ぶ子どもの育成  
 <成果指標> 令和3年度の県学力調査の県標準化得点：国語105 数学105

## ■視点5

### 【家庭・関係機関との連携】

#### 〈取組（指標）〉

- ⑤中学校区の小学校で共通確認した家庭学習の手引きの活用（学級活動で活用）
- ⑤家庭学習強化週間（小中連携）の充実（年4回）

#### 〈成果（指標）〉

- ◆児童アンケート（「家で時間を決めて学習している」3.5以上：4段階評定尺度）

## ■視点2

### 【授業づくり】

〔主体的に課題を解決する力の育成〕

#### 〈取組（指標）〉

- ④国語科、算数科において、1単位時間に考えをくつくる段階<広げる段階><高める段階>を位置付けた授業を行う。  
 ⇒<くつくる段階>において、子どもが課題解決に向けた方法や結果の見通しをもつために、2学期に学年部で確認した手立てを仕組んだ授業を行う。  
 （週案に何を考えさせるのか明記⇒週案に本時の課題を明記：国語科、算数科を中心に）

#### 〈成果（指標）〉

- ◆児童による授業評価（「学習内容がよく分かる授業である。」3.2以上：4段階評定尺度）
- ◆児童による授業評価（「授業で自分の考えをノートに書く時間がある」3.2以上：4段階評定尺度）

## ■視点4

### 【教員の意識・指導力の向上】

#### 〈取組（指標）〉

- ①「書く」「話す」活動の共通認識（全体授業研1回、グループ研1回）
- ②振り返りの時間の設定（何がわかったか、何ができるようになったか書く）

#### 〈成果（指標）〉

- ◆教員アンケート「子どもが考えを発表する場を作り、多様な考えが出るようにしている」3.2以上（4段階評定尺度）

## ■視点3

### 【学力基盤づくり】

#### 〈取組（指標）〉

- ②学習ノートの掲示（月1回更新）⇒各教室に2週に1回更新
- ③地域の学習ボランティアを活用した放課後補充学習（毎週2回⇒週1回金曜日の放課後に実施：C層・D層対象）

#### 〈成果（指標）〉

- ◆学期末評価「あきらめずにやりとげる」90%達成

## ■視点1-①

### 全国学力・学習状況調査及び児童生徒による授業評価から見た「課題」

### 授業づくりや学力向上の取組に係る「要因」

全国調査標準化得点	国語		算数		・国語「読むこと」文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題 ・算数「変化と関係」数量関係をとらえ、数量を見出したり説明したりすることに課題 ・学力中低位層（C,D層）について、C層の中で低位の児童の割合が多い。
	R1	R2	R1	R2	
105			104		
質問紙調査等	・学習が将来役に立つ「あてはまる」全国比：国語-16.5 算数-10.9 ・「将来に夢や希望」「自分で計画を立てて勉強」に課題。 ・話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりできている「あてはまる」。全国比：-11				

- ①「書くこと」「話すこと」において、自分の考えを明確にする活動の継続した位置づけが不十分である。
- ②子どもが学びを自覚する場の設定やその手立ての継続した位置づけが不十分である。
- ③家庭学習の習慣化をはじめとした、自ら計画を立て学習を進める機会が不足している。
- ④話し合う活動、自分の考えを付加修正する活動の積み上げが不十分である。
- ⑤中学校区で子どもを育む取組の継続と工夫、小中連携。